

# 農業委員会だより



平成20年4月1日  
田原市農業委員会

第13号

☎23局3519 / FAX22局3817

🌐http://www.city.tahara.aichi.jp/section/noui/

## 要望書の提出と 意見交換会の開催

平成19年11月22日(木)、田原市長あてに「農業施策等に関する要望書」を提出しました。そして平成20年1月25日(金)、この要望の内容について市長と意見を交わすため「市長との意見交換会」を開催しました。田原市からは、市長をはじめ関係職員にも出席していただきました。

今回提出した要望書の内容と、それに対する田原市の意見について紹介します。

### 1 担い手女性農業者への支援

#### 農業委員会からの要望

担い手農業者の組織には、認定農業者連絡会、農業経営士、青年農業者、4Hクラブ、農村生活アドバイザー、農村輝きネットなどがありますが、男性中心の組織に比べ女性組織への行政への支援は少ないのが現状です。また、女性が対外的な活動を行うには男性同様というわけにはいかない面もあります。

現在では、女性の考え方を中心にした起業も行われるようになり、今後も推進されることから、担い手である農村女性が自分の能力を十分発

揮できる社会づくりへの支援について要望しました。

#### 田原市の意見

団体の活動という面では現在、農業団体などが構成する農業改良推進協議会に負担金を出しています。こうしたことから、男性中心の団体の中に、女性も積極的に入ってほしいと思います。

女性が能力を発揮できる社会づくりについては、農業改良推進協議会と調整し、具体的な内容を十分把握したうえで、

支援できることは支援していきたいと思いを



### 2 老朽化した農業用施設の処理

#### 農業委員会からの要望

壊れたままの農業用施設(木製ガラス温室、豚舎、牛舎、鶏舎など)は、遊休農地になっていたりするなど有効利用がなされておらず、周囲の景観も損なっています。原因は、処理する際の費用が高額であることだと思われま。以上のことから、遊休農地の発生防止と農地の有効利用を

促進するためにも、処理費用の支援について要望しました。

#### 田原市の意見

他県の補助などの状況を調査し、参考にさせてもらいます。しかし、基本的には個人の財産なので、まずは所有者を調査し、その所有者に片付けてもらうような方法でいきたいと考えています。いろいろな課題を解決するには、市民が中心となっていくもの、行政が中心となっていくものがあるので、地域でできることはまず地域で議論して課題を解決するという姿勢をもってもらいたいと思います。

### 3 営農支援センター業務について

#### 農業委員会からの要望

田原市営農支援センターは現在、菜の花プロジェクト支援事業をはじめ6事業に取り組んでいると聞いていますが、まだ開設から期間が短いせいか、目に見えるような事業の進展がないように思います。この営農支援センターについて、掲げている事業の早期達成と、来客者に極力その場で応対してもらう体制づくりについて要望しました。

#### 田原市の意見

現在未着手の事業のうち、まず、クラインガルテン事業(滞在型市民